

# 壊されたくらし

新自由主義の現場から

生活のため、働かざるを得ない高齢者が増えていきます。「年金だけじゃあお暮らせない。働けないのが悔しい」と嘆息する80代の女性。政府は4月、年金をさらに引き下げようとしていきます。  
 (菅川雅子)

## 2人で計9万円

東京都台東区。上野公園を控える下町です。築50年の賃貸マンションに小室和子(かづこ)さん(80)は住んでいます。2月初旬まで高齢者のパートとして週5日働いてきました。給与は月6万円前後でした。

「もういっそ退職してしまおうかな」と悩んでいたとんだが、あきらまなくなりました。「原簿入レニヤと専任製菓生(きょうじゅせい)」の証を辞退しました。同居する妹の雅子(みづな)さん(78)はがんを闘病中です。80代の子どもは口ろ十福で失業。求職をつづけています。

「おかず一品のみ。今月の収入は2人の国民年金だけです。介護保険料を引いた手取りは計9万円ほど。夕方のスーパーで割引された食料を買った、お肉を焼くおかずは1品。治療費を交通費で月1万円ほど負担します。「もう一回、家賃が払えない」と口をきかしてきます。

調理師の資格をもつ2人。美容師や飲食店の洗い場など、働くにつれてき業しました。国民年金の保険料は20歳から納めてきました。

相談のため訪れた行政の窓口でのやりとりが記録されています。こまをきき、やっこの思っていたとおりです。

「担当の人が『あなた

# 年金だけ無理

は働かないで済む可きじゃないか。給付金は出せません。よ。こなたに働いてきたのだ。悔しくて死ねたいのと同じじゃないか。和子さんの声が震えてくもります。雅子さんも「国のおるご年、どんなやごなのか。おうちのは私わけて、困ったときには助けてくれない。働けない」と嘆息をまします。

数は906万人(20年)で、17年連続の増加です。全就業者の13・6%と主要国でトップクラスです。

厚田政権は4月から公的年金額を0・4%引き下げる計画です。安倍政権下の13年度からの10年で乗算6・7%もの削減です。



廣岡元徳(元衆議院議員)

低年金のため働かざるを得ない高齢者は増えていきます。「労働政策研究・研修機構」の調査(19年)では、80代の約2000人に働く理由を聞いたところ、「経済上の理由」が76・4%と上りました。65歳以上の就業率は過去最低と批判されています。

全日本年金者組合の廣岡元徳(元衆議院議員)は「までもに生活できない年金、減り続ける年金は、憲法が保障する生存権の重大な侵害です」と批判しています。



小室さんは現在、日本共産党の秋田洋次郎に相談し、住居確保給付金を申請中です。

3年前、そろって入居した小室さん姉妹。「こんな窮い無いし、許せない。みんなが声を上げないと」と雅子さん。うなずく和子さん。「病院運の悪化でもうえをいいていきます。国にはもう『ほんない』と書いた」。力強く語ります。

# 80歳働かざるを得ないなんて

おかず一品のみ。今月の収入は2人の国民年金だけです。介護保険料を引いた手取り